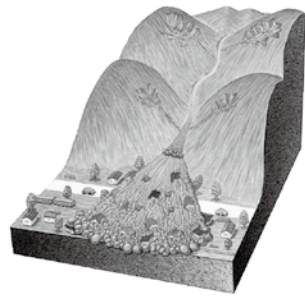


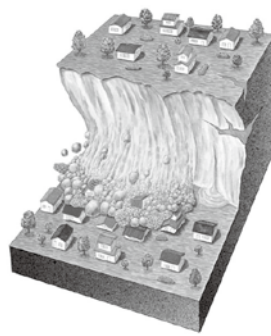
## 1 土砂災害とは

梅雨時期、台風時期などの雨が降る時や地震が起きた時に「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」といった自然現象により、住民の生命・身体・財産などに被害が生じることをいいます。



【土石流】

土砂が水(雨水や地下水)と混じりあい、河川・溪流などを流れ下る現象で、「山津波」ともいう



【がけ崩れ】

斜面上の地塊(土砂・岩の塊り)が安定性を失って崩れ落ちる現象

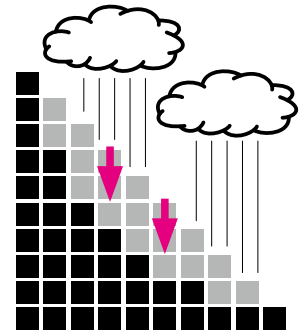


【地すべり】

斜面を形成する地塊が、地下の地層中に円弧状または平面状に形成される地質的不連続面(すべり面)を境にしてすべり、面上に地塊が移動する現象

## 2 土砂災害はなぜ発生する？

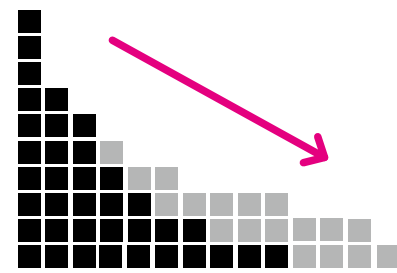
降った雨は、地表から地面の中にしみ込んでいきます。しみ込んだ水は地盤の土や砂、岩石の間のすき間を満たすと、地盤は「ゆるんだ」状態になります。これが土砂災害の発生する第一の原因です。



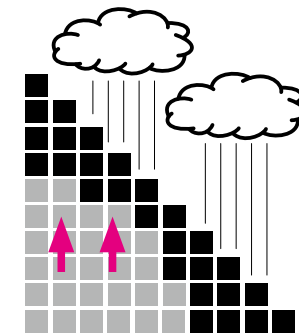
激しい雨により、斜面に水がしみ込み、地盤を緩めます



がけ崩れの発生



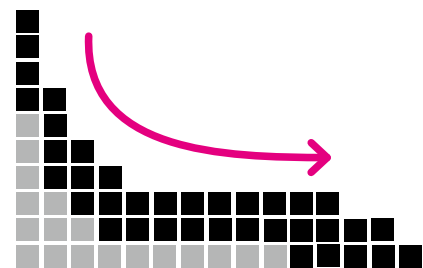
また、地面にしみ込んだ水はさらに地下深くに存在している地下水の水位を上昇させることがあり、地下深くの地盤に「ゆるみ」が発生して不安定な状態になることがあります。このような場合にも災害が起こることがあります。



地下深部の地下水が上昇し地盤の深い位置を不安定にさせることがあります



地すべりの発生



# 突然襲う土砂災害から 自分の身を守るために

地域を知り 日ごろから備え  
土砂災害の前兆現象を確認した場合は  
早めに避難することが大切です

わたしたちの生活を脅かす自然災害。

東日本大震災の大津波や広島県で発生した土砂災害のように、自然の力によって発生する災害は、人間の力や想像をはるかに超えるものです。

中でも土砂災害は、毎年のように全国で発生している災害で、わたしたちが警戒すべき自然災害の一つと言えます。

今回は土砂災害について知識を深めるとともに、市内に107カ所ある土砂災害警戒区域についてもお知らせし、突然襲いかかる土砂災害から身を守るためには、どのようなことをすればよいのか考えてみましょう。

☎ 防災安全課消防・危機防災担当 ☎23-5144